

市民活動団体

活動紹介

「混声合唱 燦 第6回演奏会」4月29日(火・祝)

「混声合唱 燦」第6回演奏会がプリズムホールで開催。谷川俊太郎作詞による人の信じる心の動きを表現した「信じる」や宗教曲、混声4部構成では本邦初演となる「民謡ラブソディ」など、約60名の団員の力強い歌声がホールに響きわたった。



平成26年度 第6回 演奏会 混声合唱 燦 八尾市文化会館 プリズムホール 2014-4-29

▲「民謡ラブソディ」の編曲者石若雅弥氏のパーカッションと共に華やかな衣装で、地元八尾の「河内音頭」を熱唱。満員の観客と一体となって盛り上がり

「市民活動団体による絵本寄贈」4月30日(水)

映画「じんじん」八尾上映を応援する会(代表・米澤)の映画上映報告があった。昨年11月12日のプリズムホールでの上映会には約820名の来場があり、主催者や、映画配給会社、本の販売会社の方々の協力で、新八尾図書館に33冊(約5万円相当)の絵本を寄贈した。



2014/05/13

▲映画「じんじん」は、絵本の里北海道剣淵町ののどかな風景と共に親子・家庭・地域の絆を描いた映画です。今後も他市で上映予定なので是非見ていただきたい映画です。写真は寄贈された本の一部です。

「平成26年度家庭倫理講演会」5月4日(日)

家庭倫理の会中河内等で構成する一般社団法人倫理研究所が主催する講演会が、「家庭のちから」をテーマにプリズムホールで開催。沖縄在住の専任講師金城えい子氏を講師に迎え、一會員の家族の支え合いを紹介しながら、人格の育成にかかすことのできない家庭の役割の大切さを多数の聴衆に訴えた。



▲「子育てって何ぞ存知ですか?」までできていない事をできたように言ってしまうことで、脳はだまることができると。また、「断捨離」は、空間を開けることで場所だけでなく、心の風通しも良くすることなど、ためになるお話が満載だった。

「起立性調節障害(OD)のランチセミナー」5月17日(土)

起立性調節障害(OD)家族の会～Snow～の主催で八尾市役所本館地下1階「Cafe rest PicaPica」で開催。約40名集まり小児科医の神原先生と柳本先生を講師に、食事やお茶を楽しみながら質問や相談・治療法やアドバイスを受けていた。



▲少しでもよくなるようにこんなことを心がけたらいいのかわ、コミュニケーションの取り方や、これをきっかけにいい関係・環境を作れたらいいと来られた方も納得されている様子だった。

インターネット「つどいブログ」でも上記以外の取材も掲載中!



大依 和也
行政書士・社会保険
労務士。センター
「つどい」でNP
O・市民活動団体の
ための専門家相談
の相談員(無料)。
詳細は5頁。

※ 内容や詳細は、保険会社によって異なる場合やほかの保険で対応される場合もあります。

ボランティア理論や会計などでよく耳にすることありますが、ここでも問題となるようですね。

さてQ&Aなどの詳細を見ていて、興味を惹かれる箇所が数点あったのですが、その一つに活動保険は、有償ボランティアは対象外とされている部分があります。交通費等の実費であれば無償とみなされ対象となり、時給・日給・月給などで支払われる報酬は有償とみなされ対象外となるようです。

活動保険はボランティア要員に対して(年間)、行事保険は行事参加者に対して(行事ごと)のケガと賠償責任(主催者、NPO等も)とになります。

まずボランティアの保険の中には主に2種類ありまして、活動保険と行事保険に分かれます。

第83回「ボランティアの保険」

つどい さきコラム

大依 和也